

己卷

わびしい
よみ

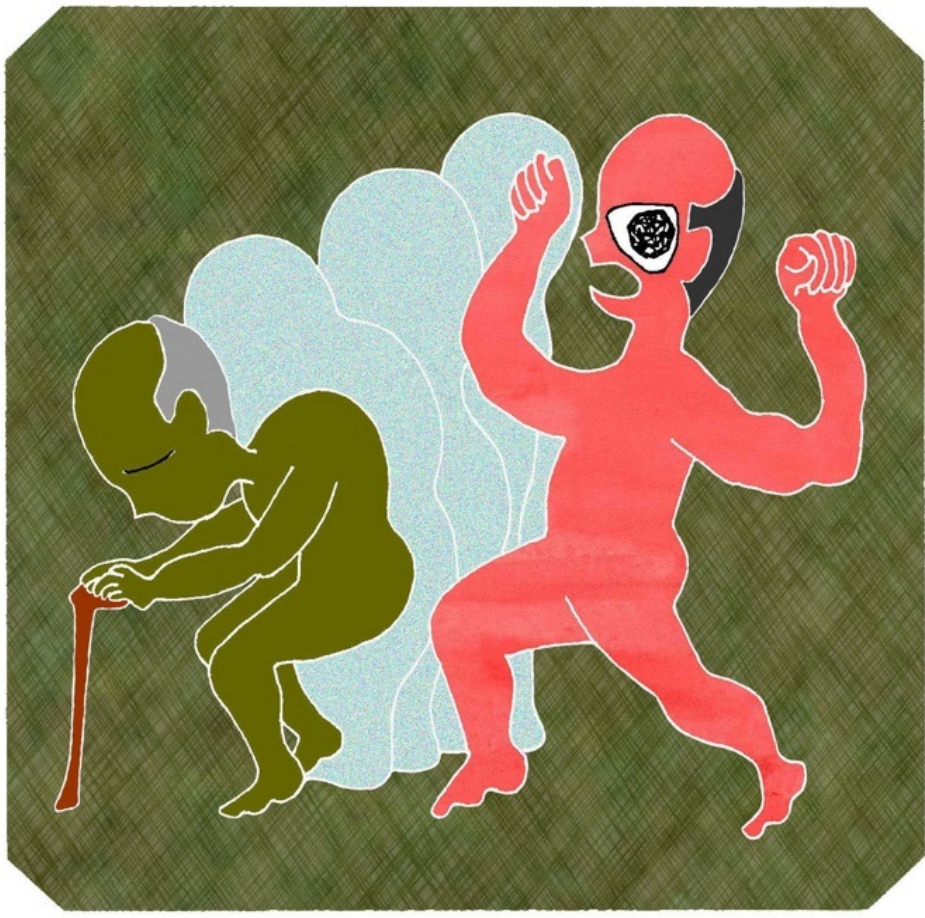
ア
ア
ア
ア
ア

パブ 検索
manaho

真帆

心が変わった回

60才過ぎて、もう人生終
つた。もうやる事何もない。と考えた
ら、心が変わった。これからは、著者と同じ
位、20年も30年も自由な時間がある。
今までの経験を活かしたら、何でも出
来る。考え方変えたら、份で心が変わ
った。份で世の中が変わった。



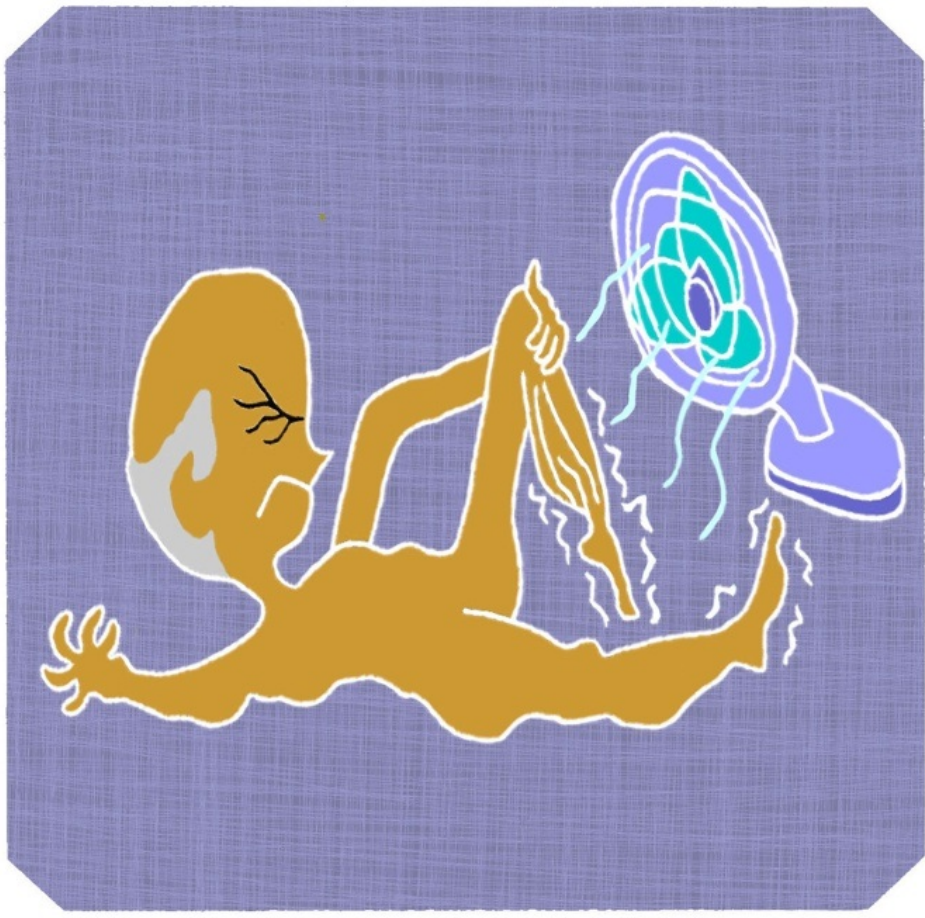


独り言の見苦しさ
ブツブツと言わ
ずにいらぬ独り言の見苦しさよ。
「早く大人になりたいと何んにも出来
ない大人になった老私」「人間には上下
はないよ。」と思えなくなった老私」「味
わいのある女性がイイと思いつつ美
人に目移りする老私」

足がムズムズ病

あのさ！年取ると、

夏暑くて足がムズムズ病でさ、寝れんから、足に扇風機かけて冷すと、冷えすぎで足がつて来るんよ。ドキンドキンの血液送る量も弱いし、血管も硬くてボロイんで若い子のようにすぐ回復せんなあ。





まだ若い 町を歩き、他人を見て、心の中
で勝った。『負けた』で生きている。年
取って、自分以外は兀さんに見え、トボ
トボ歩いている人を見ると、俺の方が
若い。まだまだ元気だ。長生き出来
るぞ〜とほくそ笑む。

半人前の仕事

60才過ぎたら、誰にも相手にして貰えん。ましてや使つて貰えん。半人前の仕事しかない。若者ですら、仕事がないんだもんやあ。だけんど、今に見ておれ、経験豊富な老骨パワを駆使して、ビジネス・アートやるからな！誰にも文句言われんようにな。

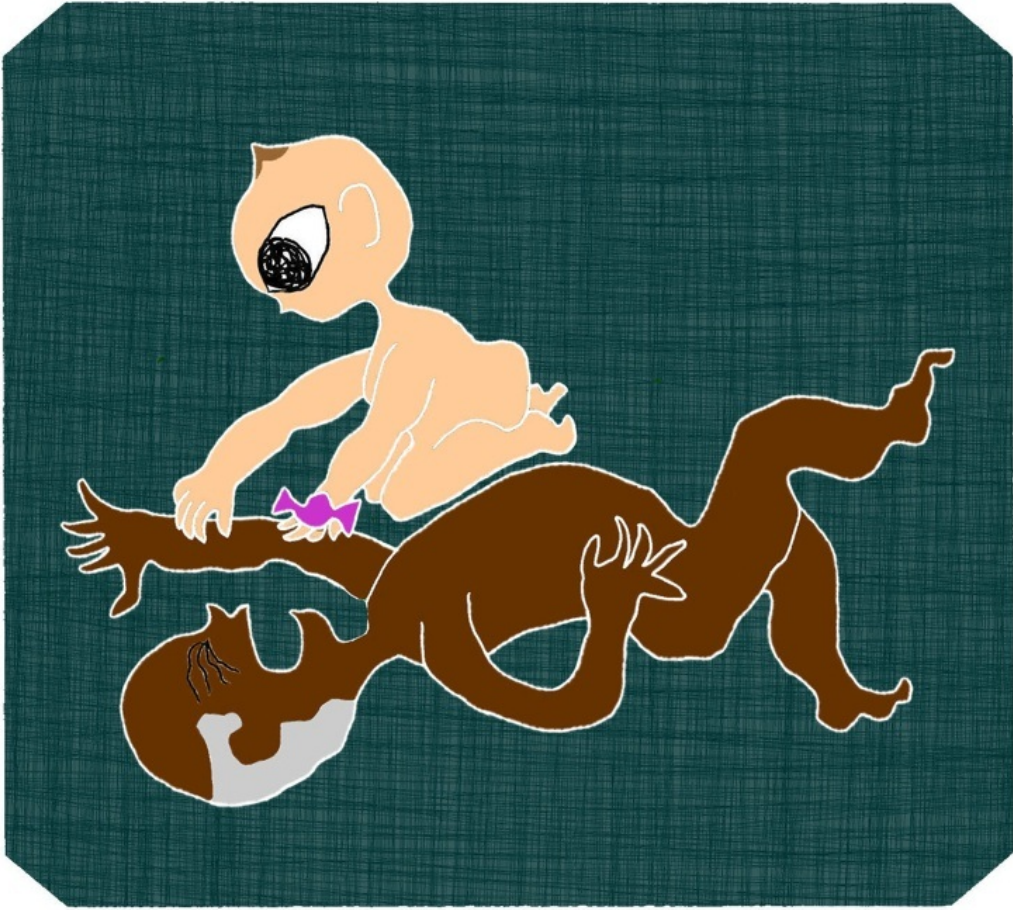




鉛で重い 誰が俺の足に…俺の腕に…俺の頭に…鉛の重りを乗せたまゝ。
本当に身動きかたれん。早く動けん。早く動けん。先が見えん。でも考えようによつたら都合のイイ、調度イイ、ボケ具合かも知れん。金もない、友もない、寿命もない俺には。

死んで行く

腰が激痛、体が動かない。もう一巻の終りの感じがする。このまま死んで行くのかなあ、と感じる。30年前の若い時に似て、そんな気持ちになった事があったなあ。でも、今は家族が見守っている。孫がアメをくれた。





オンボロ兄さん 仕事戦士でスゴかった俺も、年取って、兄さんになると、パソコンワークもたった一時向すると、30分横に寝んと、また怪しい体になってしまった。オンボロ心臓とコレステロール血管では、血液流れんもん、回復遅い訳だよな。

不整脈？

朝起きようとするとき、少し
心臓がドキドキする。これぞ動悸か
なあ〜と1・2…35…35…と34秒目で
休みした。心臓の奴め、休憩しとる。
俺の性格みたいに不精者だなあ。こ
れって不整脈？俺ぞ危ない？





一巻の終り 五ちゃん夢を見た。年取
ろ、腕力もろく、骨皮ばっかで体比重が重
くなり、水中に落ちたら、浮きもせず、ブ
クブク、プクプクと沈んで行き、アゝこ
れで一巻の終りだなあゝと思つていた
ら、目が醒めた。辛い苦しい夢しか見
れんのかなあ。年寄りはい！